

2023 年度 第 1 回理事会議事録

1. 開催日時：2023 年 6 月 4 日（日）11：00～13：00

2. 開催場所：松前町総合文化センター

3. 出席者

理事：青木 究 宇都宮卓治 岡田未奈 小野達也 清水俊行 久枝正実 野村祐介 宮崎昌彦

山田文哉 山本良輔

監事：田邊芳郎 渡部優作

欠席者：成高有哉

4. 議事

1) 開会の挨拶

宮崎理事より理事会開催の挨拶があった。

2) 書記の選出

宮崎理事より野村理事が書記に選出された。

3) 第 7 期会長・副会長・事務局長・事務局の選出

清水理事より宮崎理事を会長に推薦したい旨の発言があった。宮崎理事承諾の上、満場一致で承認された。

宮崎会長より副会長に清水理事、岡田理事を推薦あり、清水理事、岡田理事はこれを承諾し満場一致で承認された。指名の順序は①清水理事、②岡田理事となった。

宮崎会長より事務局長に野村理事が指名された。野村理事はこれを承諾し満場一致で承認された。事務局については協議の結果、現在と同じく住友別子病院診療部臨床工学室を事務局とすることが満場一致で承認された。

4) 各委員および委員長の選任

(別表 1) のとおり、委員および委員長が選出され、満場一致で承認された。

5) 中四国臨床工学技士会連絡協議会の報告および持ち帰り案件の検討

2023 年 4 月 29 日(土)に岡山で開催された中四国臨床工学技士会連絡協議会の各委員会(組織、学術、若手、事務局)の報告について、それぞれ組織委員の清水副会長、学術委員の山田理事、若手委員の小野理事、事務局の野村事務局長より報告があった。(詳細は各委員会議事録を参照)

事務局会より中四国臨床工学会責任者の名称を“大会長”から“学会長”へ名称を変更する件について

議論を行った。あくまで第 14 回中四国臨床工学会の長であって、中四国臨床工学会の長ではないため、“学会長”という言葉にはやや違和感があるなどの意見があった。特に問題ないのであればこれまで通り“大会長”でよいのではないかという意見で話はまとまった。この件については名称を変更するか否かの判断について当県の判断でよいのか、協議会で議論する必要があるのか、当県の見解も含め、事務局会へ返答する方向となった。

協議会での持ち帰り案件(別紙 2)について協議を行った。メーリングリストの作成、Google drive でのファイル共有など過去の情報の整理と共有を目的に中四国臨床工学技士会でレンタルサーバーを契約する件について宮崎会長より説明があった。本件については満場一致で承認された。

また新しい活性化のアイデアについて下記のとおり議論を行った。

- ・ 各県における演題準備状況の事前共有

演題登録するともわからない準備状況を共有することにあまり意義を感じない。各県の目標演題数の共有化ができているのであれば、準備状況を事前共有する必要はないのではとの意見でまとまった。

- ・ 学会貢献度が最も高い県の表彰

貢献度の基準が不明確であること。競争心で演題数や参加者数を競わせるのは違和感を感じるとの意見が挙がった。

- ・ 告示研修では実施できていない、より専門的な内容の実技研修の導入(ハンズオンセミナーの発展?)

どのような内容のものになるのか具体案が出ず、結論には至らなかった。

- ・ 臨床スキル、技術に関する評価コンテストの導入

公平性を出すため各県というよりは中四国合同委員会のようなところが基準を取りまとめて実施するのであれば可能ではないかとの意見でまとまった。

- ・ 関連学会の講習会の一部を企画として取り入れる(例：透析液水質確保加算用の講習会)

実際に中四国臨床工学会で企画しポイント取得が可能なのかどうか一度調べる必要がある。

- ・ 若者が集まりやすい学会企画を考える

若者だけが入室可能な場所づくりなど、本件については積極的に検討していく必要はあるとの意見でまとまった。

- ・ 歴代大会における演題数、参加人数の推移を抄録集に掲載

抄録に掲載する必要性は感じられない。

その他、宮崎会長より中四国臨床工学会の活性化するために、もっと多くの方が協議会へ参加し、刺激を受けることで、全体が活性化していく足がかりになるのではないかと意見があった。満場一致であり、上記の新しい活性化のアイデアの意見も含め、愛媛県として協議会へ回答することとした。

第33回日本臨床工学会への派遣

7月21日(金)～23日(日)に広島県で開催される第33回日本臨床工学会に野村事務局長、山本理事、宇都宮理事の3名を派遣することが満場一致で承認された。第18回全国都道府県臨床工学技士会代表者会議へは、宮崎会長、清水副会長が派遣されることが満場一致で承認された。

6) 第7期の活動方針について

宮崎会長より実態調査の回答依頼、委任状の回収、年会費の徴収、郵便物の印刷・封入/封かん作業・発送などの作業が一部の役員(その施設の職員)に負荷が掛かっており、持続可能な会であるためにこれらの業務のあり方について提案があった。特に年会費の徴収については未納者への催促や納金確認などの労務が大変であり、支払い方法を含め会費徴収の全てを委託する方針であると説明があった。また郵送物についても印刷・封入/封かん作業・発送の作業が一部の役員やその施設へ負担となっているため、全てを電子化する方針であると説明があった。

これらを第7期の活動方針として掲げることで満場一致で承認された。

会費徴収委託については野村事務局長が中心に検討を進めることとなった。電子媒体や会員ページについては広報委員会とも連携し検討を進めることとなった。また年度末を目安に施設代表者会議を行い、理解を得る方針とした。

7) プライバシーポリシーの規程について

現在、(公社)日本臨床工学技士会が都道府県技士会との会員情報の連携強化のためにプライバシーポリシーの規程を変更している。会員情報の共有を行なうにあたり当会に関してもプライバシーポリシーの規程が必要になってくるためプライバシーポリシーの規程を作成する必要がある旨、宮崎会長より説明があった。プライバシーポリシー規程作成について満場一致で承認された。

8) その他

第14回中四国臨床工学会実行委員会、清水実行委員長より報告があった。(別紙3参照)

9) 事務局報告

野村事務局長より新入会員10名、異動2名、退会9名、復帰1名の報告があり満場一致で承認された。

10) 第2回理事会の日程調整

8月を予定

5. 議事録確認

出席理事



宮崎昌彦



清水俊行



岡田未奈



野村祐介



青木 究



宇都宮卓治



小野達也



久枝正実



山田文哉



山本良輔

出席監事



田邊芳郎



渡部優作

6. 閉会挨拶

清水副会長より閉会の挨拶があった。

別表1

第7期(2023,2024)委員会名簿	役職	氏名	所属
選挙管理委員会	委員長	楠本 雄一郎	村上記念病院
		土居 洋子	JCHO宇和島病院
学術大会実行委員会	委員長	山田 文哉	愛媛大学医学部附属病院
		塚本 伶央奈	愛媛大学医学部附属病院
		永渕 克弥	松山市民病院
		野村 祐介	三島クリニック
		宮田 圭	愛媛県立中央病院
血液浄化委員会	委員長	山本 良輔	佐藤循環器科内科
		白石 理	住友別子病院
		杉田 潤	重信クリニック
		辻 彰	樹人会北条病院
		井上 徹也	三島クリニック
		成高 慎祐	なかの泌尿器科
循環器委員会		青野 迅矢	くろみつクリニック
	委員長	青木 究	愛媛労災病院
		浅木 康志	愛媛大学医学部附属病院
		新田 拓夢	済生会今治病院
		真鍋 浩紀	住友別子病院
		安岡 博史	県立新居浜病院
OP・機器管理委員会		黒川 千裕	済生会今治病院
	委員長	久枝 正実	県立中央病院
		山田 文哉	愛媛大学医学部附属病院
		松尾 光徳	真泉会今治第一病院
		高瀬 和則	市立宇和島病院
呼吸療法委員会		青野 宏樹	公立学校共済組合四国中央病院
	委員長	清水 俊行	四国がんセンター
		奥平 直紀	四国がんセンター
		早田 博行	愛媛医療センター
		平川 太基	愛媛大学医学部附属病院
内視鏡委員会		小野 達也	住友別子病院
	委員長	高橋 祐樹	住友別子病院
		堀田 修平	済生会今治病院
		松本 健嗣	三島クリニック
広報委員会	担当理事	宮崎 昌彦	住友別子病院
	委員長	岡田 未奈	済生会西条病院
		高瀬 和則	市立宇和島病院
		酒井 雅弘	住友別子病院
		石川 健二	西条中央病院
		永渕 克弥	松山市民病院
		山本 裕平	西条中央病院
若手委員会	委員長	井上 千騎	佐藤循環器科内科
		池上 虹	西予市民病院
		大北 茉耶	佐藤循環器科内科
		玉井 涼葉	済生会今治病院
		武田 星太郎	住友別子病院
	担当理事	小野 達也	住友別子病院
組織委員会	委員長	宮崎 昌彦	住友別子病院
		清水 俊行	四国がんセンター
		成高 有哉	四国医療技術専門学校
		川上 千晶	愛媛大学医学部附属病院
		岡田 未奈	済生会西条病院
		宇都宮 卓治	広瀬病院
		白石 理	住友別子病院
災害対策委員会	委員長	永渕克弥	松山市民病院
		西田美穂	県立中央病院
		橋本美和	愛媛大学医学部附属病院
		久保 章	市立宇和島病院
		荒水 裕	済生会西条病院
		松下 浩幸	市立大洲病院
	担当理事	清水 俊行	四国がんセンター
校閲部	部長	成高 有哉	四国医療技術専門学校
		宮崎昌彦	住友別子病院
		田邊芳郎	済生会今治病院
		渡部 優作	順天会放射線第一病院

令和5年度第1回中四国臨床工学技士会連絡協議会 議事録

日時：2023年4月29日（土）15:00～17:00

場所：岡山国際交流センターB1F レセプションホール

出席者：（別添）リスト参照

配布資料

- （資料1）令和5年度中四国臨床工学技士会連絡協議会名簿
- （資料2）第12回中四国臨床工学会決算報告書
- （資料3）功労者表彰推薦者資料

議案

1. 学会開催報告
2. 協議・報告事項
3. （公社）日本臨床工学技士会理事会報告
4. 日本臨床工学技士連盟報告
5. その他
6. 次回協議会予定

・議事録署名人、書記

議長にて開催県より、議事録署名人として福安、書記として雑賀を推薦、承認された。

・新しく委員になられた方からご挨拶いただいた。（資料1）

1. 学会報告

・第12回中四国臨床工学会（岡山県）

開催日：2022年10月1日（土）、2日（日）

2022年10月12日～11月10日（オンデマンド配信）

場所：岡山コンベンションセンター

開催方法：ハイブリッド（対面、web）

テーマ：紡ぐ～人と技をつなぎ未来を創造する～

決算報告（資料2）

藤原岡山県事務局長より決算報告があった。

・第33回日本臨床工学会（広島県）

開催日：2023年7月21日（金）～23日（日）

場所：広島国際会議場、JMS アステールプラザ

開催方法：ハイブリッド（現地＋一部ライブ配信＋オンデマンド）

テーマ：Peace for Innovation～Peace：無事 安心への新たな展望～

高橋広島県会長（第 33 回日本臨床工学会学会長）および肥田日臨工理事より報告があった。

演題が想定以上集まり、会場の収容数を超えたため 1 会場（JMS アステールプラザ）追加した。会場間はシャトルバスで連結する。企業協賛も多く集まった。

市民公開講座：広島カープの前田選手、吉本の芸人を呼んで SDGs に関する講演（連盟企画）を行う。

・第 13 回中四国臨床工学会（鳥取県）

開催日：2023 年 10 月 28 日（土）、29 日（日）

場所：米子コンベンションセンターBiGSHiP

開催方法：対面

テーマ：臨床工学の SDGs～わたしたちができること～

藤原鳥取県会長（第 13 回中四国臨床工学会大会長）より報告があった。

市民公開講座を設けて、一般市民に向けた企画も検討している。

演題募集が 4/1 から始まっているが、現在 10 演題の申し込みにとどまっている。目標としては 120 演題を目標としている。各県技士会には積極的な声掛けをお願いしたい。企業協賛が少なく苦戦している。引き続き協賛の募集について努力する。

・第 14 回中四国臨床工学会（愛媛県）

開催日：2024 年 9 月 21 日（土）、22 日（日）

場所：アイテムえひめ 愛媛国際貿易センター

大会長：宮崎 昌彦（住友別子病院）

実行委員長：清水 俊行（四国がんセンター）

宮崎愛媛県会長（第 14 回中四国臨床工学会大会長）より報告があった。

会場確保が難しかった。交通の便が悪く自家用車での来場をお願いしたい。

2. 協議・報告事項

1) 中四国臨床工学会を各県で盛り上げる方法について（前回から継続審議）

小野岡山県会長から継続検討事業として提案いただいた。

研究倫理や協賛企業の減少により難しい面はあるが、中四国臨床工学会は学術団体としての学術集会ではなく、職能団体としての学術集会であり職能を高めていく大会である。成功を目指し開催県単独で取り組むのではなく、中四国ブロック全体で開催県を支援する必要がある。以下提案として、

・次回開催県がスタッフとして参加し、ノウハウを得る（第 12 回から）。

- ・ 1 県 5 演題の登録を目標とする→9 県で 45 演題集まる。
- ・ 資料の共有（データのクラウド化） 特に協力企業の詳細などを共有した方が次年度開催県は助かるのでは？

日臨工肥田理事より提案があった。

中四国でレンタルサーバー（X サーバー）を契約した。年間 1 万円のコストがかかる。開催県で持ち回り運営してもらいたい。連絡協議会および各委員会の議事録、中四国臨床工学会運営に関する資料を共有する。→賛成多数にて承認。

（運用について）

サーバーを管理するためのメーリングリストを今回の連絡協議会名簿で登録する。サーバーの容量としては中四国臨床工学会のホームページを運用する分には問題ない。

具体案について各県どう考えているか意見を求めたが集約ができていないということで継続審議となった。各県へ持ち帰り検討し活性化についての取り組みの各県の現状について共有する。

2) 中四国災害時情報コーディネーター会議

第 33 回日本臨床工学会のシンポジウムで中四国の現状について報告する。

次回会議は第 13 回中四国臨床工学会期間中に対面開催を予定。今後についてはその際に共有する。

3) 告示研修 1 日目の実技指導者について

1 日目の実技指導者（スコープオペレーター）が不足している。各県最低 1 名選出してほしい（5 月末まで）。具体的な内容については後日報告。

対象：告示研修を修了した臨床工学技士

4) 2024 年度告示研修 ブロックでの開催について

2024 年度の開催県を募集する。ただし参加人数を確保することが必須となる。次の業務拡大に伴う告示研修を受講する際には今回の告示研修受講が必須である。次の業務拡大につなげるためにも告示研修の受講促進について積極的に取り組んでいただきたい。年度前に開催計画を公開していただくと予算を組みやすいとの要望があがった。

5) 委員会報告

- ・ 組織委員会

（議事録・資料別添）

- ・学術委員会
(議事録別添)
- ・若手委員会
(議事録別添)
- ・事務局会
(議事録別添)

6) その他

- ・生涯教育の E-leaning は新入会員だけではなく全会員対象。2 年間に受講しないと専門臨床工学技士試験を受験できなくなるため各県には周知をお願いしたい。

- ・日本臨床モニター学会（高知）
本間理事長が講演。

3. (公社) 日本臨床工学技士会理事会報告
(別添)

4. 日本臨床工学技士連盟報告
(別添)

5. その他

- ・功労者表彰
→組織委員会報告と合わせ承認。

6. 次回協議会予定

日時：未定（第 13 回中四国臨床工学会会期後）

場所：Web

※各委員会のみ第 13 回中四国臨床工学会中に米子コンベンションセンターにて開催する。

(別添) 参加者リスト

【出席者】

- (鳥取県) 藤原弘昌、前根晃彦、萩原隆之、金崎俊介、雑賀真也
(島根県) 福田勇司、宅江呂剛、日野厚志、三島千秋
(岡山県) 小野淳一、藤原千尋、西江和夫、堀純也、佐々木新
(広島県) 高橋秀暢、兼長貴祐、栗原大典、羽原詠治
(山口県) 富貞公貴、大野晶範、和久益寛、安本圭亮、鈴木雄揮
(香川県) 光家努、山本晃市、秋山精彦、村上成重、田井裕也、松本恵子
(徳島県) 近田優介、割石大介、福原正史、山下翔
(愛媛県) 宮崎昌彦、野村祐介、清水俊行、山田文哉、小野達也
(高知県) 武島智隆、斧武志、仙頭正人、安岡良訓、小川晋平

(日臨工) 副理事長 野村知由樹、監事 高山亨

(連盟) 理事長 肥田泰幸

オブザーバー

- (鳥取県) 福安賢吾
(広島県) 松田政二
(高知県) 仙波大英
(香川県) 白川憲之

【欠席者】

- (高知県) 村上武
(日臨工) 専務理事 青木郁香

日時：令和5年 4月 29日（土） 13：00～14：25

場所：岡山国際交流センター B1 レセプションホール

<出席者>

鳥取県：前根 晃彦 島根県：福田 勇司 広島県：高橋 秀暢

山口県：和久 益寛 香川県：秋山精彦 徳島県：近田優介 高知県：武島智隆（代）

愛媛県：清水 俊行 岡山県：西江 和夫

オブザーバー：野村 知由樹：日臨工理事 肥田 泰幸：日臨工理事 高山 享：日臨工監事

宮崎 昌彦：愛媛県会長

松本 恵子：日臨工組織強化職能委員会 女性活躍実現 WG

青木 郁香：日臨工専務理事（欠）

司会：福田 書記：西江

<添付資料>

- ・ 資料1 （公社）日本臨床工学会代表者会議「登壇者」の選出について
- ・ 資料2 ブロック代議員の活動報告書の内容について
- ・ 資料3 中四国県連盟担当者会議議事録
- ・ 資料4 女性活躍推進 WG 議事録
- ・ 資料5 中四国連絡協議会功労者表彰 推薦書

<議案>

※委員長、副委員長、書記の互選について

会議に先立ち、委員長：福田氏、副委員長：清水氏、書記：西江が互選された。

委員変更報告 香川県：白川委員⇒秋山委員

#1. 日本臨床工学会（広島）代表者会議「登壇者」の選出について（資料1）

ブロックから1名選出し、（公社）日臨工役員と各ブロック代表者と討論の予定。

中四国ブロックからは、組織委員会から選出（福田氏は司会より除外）、清水氏が推薦され承諾された。

#2. 日臨工代議員について（資料2）

ブロック代議員活動報告書（前期、後期）の内容は異論なし、6月末に福田委員長に提出となる。

#3. 告示研修の取り組みについて

1) 各県での方針や考え方

愛媛：2022年（令和4年）10月8日（土）、9日（日）にリジェール松山にて初の告示研修愛媛県開催。

県内外より78名の参加。2022年度（令和4年度）愛媛県技士会が発行する会誌にて、告示研修受講促進に関する記事を掲載し周知強化を図る。

- ・ 2回目の告示研修愛媛県開催を計画するにあたり、愛媛県開催の希望について会員にアンケート実施中（令和5年3月現在）

清水委員：令和4年度の愛媛県開催では会場の電気が一時的に停電（5分程で復旧）。定員80人の所、2人欠員で78人の参加であった。参加者の内訳は愛媛県内からの参加者が約65人、他四国各県の参加者が多かった。

福田委員長、野村（オブ）：地方の告示研修開催自体は（予算上は厳しいが）必要な事業だ。そのため参加者が見込める会場が重要。実技研修も仕組み条件の基礎研修を先に終わらせている状況が大事となる。日臨会員全体としては3割終了。中四国では高知県、徳島県の受講率が低い状況。

武島委員：高知県内会員へ周知はしている。施設により費用負担（公費か私費）様子見の状況有。また、コロナ禍では県外移動も難しかった。今後県外移動制限解除により、基礎研修後に高知県内開催予定がない場合は、基礎研修後実技研修受講期限を考慮し、県外で受講の行動が予想される。よって今後県内開催の場合の受講希望者がやや減る可能性もある。高知県内の臨床工学技士資格保持者は360人、高知県技士会会員250人 告示研修終了者は35人程度か。

近田委員：徳島県の特徴は透析施設所属会員が多い。医師会、県立病院3施設にアプローチ進めている。

高橋委員：受講率は16.5%。周知はしているが、各施設の状況の確認を行いたい。

福田委員長：2年後は新カリキュラム修得の養成校卒業生が出てくるので、既卒者との差を埋めておきたい。コロナ禍が終わって受講状況を注視する必要がある。島根県では、代表者会議で説明しているが、東京会場参加が多い印象。

前根委員：透析クリニック所属会員は告示研修の必要性の理解・認識が低い。加えてクリニック所属技士は県外移動によるはコロナ感染による欠員の恐れを懸念していた。引き続き啓発を進める。

近田委員：自施設では中途採用者は告示研修受講済みを要件に入れている。

＜以下、事前アンケート＞

岡山：総会、代表者会議、ブロック内会議で受講の必要性を説明。7月に第2回開催予定

広島：最新情報を施設代表者のメーリングリストにてお知らせ。

・県技士会の施設代表者会議にて必要性を報告。その録画資料をメーリングリストにて配信

香川：県内各種イベントにて周知（施設代表者会議、メール連絡）をおこなっている

山口：学術大会で（公社）日本臨床工学技士会報告の時間を設けている。

鳥取：大規模病院はタスクシフトが進みつつあることもあり、また病院の理解も比較的得られており、今年度中に全ての技士が修了する施設がほとんど。小病院やクリニックに関しては、まだまだ理解を得られているとはいいがたく、経費負担に関してもまだ交渉中のところもあり、研修終了の人数は少ない。技士1名の施設も修了者が少ない印象でした。ただ、透析クリニックでも経費を負担ケースもあり、コロナ禍も落ち着いて施設からやっと許可が得られたという施設もあったので、今後会員メールや総会・研修会で情報共有しながら全ての技士が修了をするようにしていきたい。

島根：各施設の現状を確認（アンケート実施）。

・代表者会議（2回開催）で受講の必要性を説明。

徳島：前回の報告から継続している毎月セミナーに3分程度の告示研修案内スライドを流しています。毎参加者30-40名。+県医師会に面会依頼をお願いし、医師会サイドからの協力を依頼する予定。

高知：当県の会員へ示すために、まず告示研修受講の必要性ならびに研修費用などの情報を理事会（6回/年）で説明から現状を報告し共有しています。会員へは定期的に発行（2回/年）する会報を通してお知らせしています。昨年度

には告示研修受講について施設代表者へ要望調査を実施し、5施設より121名の対象者で県内受講希望者は87名と回答をいただきました。会員からの声では、①クリニックに務める施設では、CEが1~2名しか勤務しておらず県外への出張許可が下りないため、県内開催を希望する②CEが多く在籍している施設では、県外なら複数年に分けて研修を予定する、などが寄せられています。

2) 連絡協議会全体として取り組みについて

武島委員より提案あり。中四国では各県50%の受講率の数値目標について当委員会の承諾が得られた。

#4. タスクシフトについて

1) 各県での取り組みについて

・タスクシフトシェアの問題点、課題をあげてください（福田委員長）

和久委員：業務拡大領域に対しスタッフの反応が悪い（スコピストなどやりたいという意見がない）

そのため、業務拡大実践成功例の経験の中四国学会等で発表、啓発し必要に応じ、施設見学などもよいのでは。

武島委員：香川大学病院の麻酔補助への取り組みがニュースになった。今後スコピスト⇒ロボットも今後視野に入れるべきかと。また在宅呼吸・透析なども需要があるのでは。

野村オブ：（公社）日臨工も在宅領域への業務拡大の認識はある。成功例の情報共有がよいのでは。

各分野の業務拡大の進め方としては、例えば手術室の場合、手術室内での信頼を得ることが先決。また、清潔補助行為などは推進分野と考える。業務拡大の歴史は技士が働いて活躍している分野から拡大の機会があるのではと考える。

肥田オブ：実際取り組んでいる業務から広げる方がよいかと考える。

高山オブ：多職種も業務拡大を進めているので業務拡大の干渉に注意が必要。

清水委員：自施設では年間40例の下部消化器外科関連のスコープオペレーター業務に取り組んでいるが、術中の問題点として、医師の代わりに大腸などを体外において「臓器保持行為」が必要な場合の法的な部分について院内委員会等で検討している（看護師は行っていない）縫合糸引き、拘引は問題ないと考えている。ウロダビンチの清潔野の介入を要望されている。

<以下、事前アンケート>

愛媛：現状では技士会として積極的な取り組みはできていない。今後、県内の各施設における取り組み状況について調査を行うか検討する。

岡山：代表者会議などで各施設での現状を確認。

広島：学術大会でタスクシフトに関する演題を盛り込んで、事例や必要性をご紹介

・年会誌に特集を設けて、広島県内の施設の実態や事例を取り上げる

・告知研修に関するお知らせを、今後の郵便物に毎回入れる

香川：県内勉強会にて選考施設への取り組みなどについて発表。また県内学術大会等にて一般演

題の発表あり。県内学術委員会にてタスクシフトに対する勉強会を開催予定

山口：具体的な取り組みは無いが、学術大会一般演題にタスクシフト関連の発表がある。

鳥取：ある病院では、「スコープオペレーターを開始（外科・呼吸器科）アブレーションにて通電（ブロッケンブロー、スティムレータ）操作、現状スコープオペレーターについては、医師の働き方改革に大きく貢献していると院内でも高い評価を受けている」と報告を受けています。大規模な病院は、すでに「医師の働き方改革に関する委員会・WG」が立ち上がっており、スコピストや手術室における清潔介助業務と業務拡大に向けて順調に進んでいるものと思われます。透析関連施設に関しては、血管造影検査・シャント治療における介助業務に加えて動脈穿刺

もというところですよ。

島根：・代表者会議（2回開催）で各施設での現状を確認。・タスクシフトを焦点に当てたテーマで鳥取県との合同セミナーを開催

徳島：前回の報告から継続している毎月セミナーに3分程度の告示研修案内スライドを流しています。毎参加者30-40名。県医師会に面会依頼をお願いし、医師会サイドからの協力を依頼予定。

高知：告示研修の領域に限らなければ、少なからず進んでいます。（麻酔器の準備、CE 清潔野介助など）

2) 今後の対策について

野村オブ、肥田オブ、高山オブ：病院内でのコンセンサスが重要である。（公社）日臨工などで取り組みを学会で報告してほしい。

福田委員長：本件に関し情報共有があれば、中四国から（公社）日臨工へ伝えたい。

#5. 連盟活動の組織化

1) 各県での取り組みについて

愛媛：連盟の”ワンコインプラン”への参加。愛媛県技士会内において約70%の会員から承諾が得られた。現在、承諾が得られた会員に対し連盟年会費が1000円になった事・連盟入会手続きおよび年会費の徴収を県技士会が代行する旨、記載した書類を郵送しアナウンスを行った。4月初旬に年会費の徴収を（締め切り5月末）開始する予定である。

岡山：代表会議にて、意識調査（アンケート）と説明会を予定。代表者会議にて職能団体として必要な活動（学術、組織強化、地位向上）を説明し、その方法論として連盟活動が必要なことを理解してもらう活動を続ける。

広島：ワンコインプランを強力に推進することで会員数増加へとつなげたい。但し、目標8割は周知活動だけでは限界があると考えている。とりあえずやってみようから始めるか、具体的な施策は引き続き検討中である。

香川：県内に新しい担当者の配置。県内勉強会等にて連盟活動の実績報告など活動内容の報告中

山口：毎年、学術大会で連盟からの報告（講演）を実施している

鳥取：今回の調査にあたり施設代表へ「連盟加入率アップに向けて、何か困っていること、問題点と感じられること等ありますか？」と問いましたが、ほとんどが「特に問題なし」でした。にもかかわらず加入率が伸び悩んでいる現状を考えると、深刻な状態であると考えています。ただ、一部の技士長から「個人情報の問題もあるかと思うが、未加入の技士の名前を教えてもらえないだろうか。」という意見がありました。新入職者の入るこの時期、さらには総会の時期をチャンスととらえ、技士会として積極的に活動していきたいと思います。

島根：施設代表者会議で肥田連盟理事長に講演をして頂いた。会員に対して意識調査を実施（アンケート）。

徳島：連盟に関しては正直、新規の技士会入会者とかには一緒に入会を促す、または県定期総会に県担当者からの説明会を入れる

高知：入会促進を進める目的で理事会で協議。以下、案で改善点があれば修正の予定。

1. 基本的に技士会会員には連盟にも

入会してもらう方針であることを各会員

へ文書で通知した上で、県技士会総会（6月）にて承認を得る。

2. 連盟入会を拒否する会員からは文書で返信を得る。返信がない場合は承諾

したものとして扱い、技士会側で連盟への一括入会手続きを代行する。

3. 県技士会費（5,000円）は据え置きとし、連盟の入会率に応じて一部（500円～）

を連盟会費として取り扱う。

4. 新規入会の手続きについては継続協議

2) 今後の対策について

引き続き活動を続けてもらいたい

#6. 中四国県連盟担当者会議キックオフ会議 (資料3)

1) 現状報告 1月に、各県の連盟担当者とオブザーバに野村日臨工理事、肥田連盟理事、高山監事、中四国技士会会長をお招きし会議開催した。先行してワンコインプランに取り組んだ愛媛県の事例報告では、一部の会員に異論もあったが、結果 70%を超える参加を得、会費 1000 円となる予定 (4 月現在)。他県では会員種別のための内規変更への取組み、技士会入会時に連盟の同時入会への工夫に取り組む事例も報告された。また、各県代表者会議で説明会の開催、現状調査のためのアンケート施行など、連盟への関心を持ってもらうことに工夫をしていることが報告された。

2) 今後の対策について

引き続き活動を続けてもらいたい

#7. 女性活躍 WG の報告について (資料4)

1) 現状報告 議事録報告

各県で活躍している女性技士から報告があったが、活躍に関し困ったことがない意見であった。
各県 1 名の代表選出済み。2030 年女性比率 30%目標 (日臨工) に向け活動したい。

2) 今後の活動について

今後も継続的に中四国臨床工学会で WG 企画に取り組む予定

#8. 中四国連絡協議会 功労者表彰について (資料5)

1) 推薦書 鳥取県・土井総一郎氏、岡山県・山田光樹氏

異論なく 連絡協議会へ推薦することが承諾された。

#9. その他

西江委員：職能団体の本質をベースで、連盟活動他進めるべき

肥田オブ：そのため職能団体としての意義の理解を深めるため生涯教育事業を進めることが大事。

清水委員、宮崎オブ：愛媛県内の職能活動啓発事業は、参加者が少ない。ワンコインプランを伝えたいが、会員に伝わっていない ((公社) 日臨工、連盟、県技士会の違いが分かっていないなど) 状況はある。周知の方法を検討している。末端会員までの周知の難しさを感じた。どんなに丁寧に話しても 6 割しか伝わらない。何が正しいのか悩ましいが愛媛県の取り組みは成功と考えている。

近田委員：若手にセミナーで弁当配布など参加しやすくし、理事会では現状の厳しさを伝え世代別に対応に変化をつけている。

福田委員長：島根県では半分以上連盟加入しない回答であった。施設代表者が連盟不参加回答だとその所属会員については厳しい状況かと考える。

・ 告示研修開催県場所中四国ブロック枠3県について (2024 年度追加について)

広島、岡山は受講率の実績から引き続き開催予定

追加 四国側 高知県より開催希望あり組織委員会から推薦する (即日連絡協議会で承諾された)

・ 告示研修 スコープオペレータ補助者の負担 (高山オブ)

岡山県が現在補助者 7 名 (平均月 2 回など) で対応しているが、現在担当の方の負担が大きいの
各県 1 名の推薦を依頼したい。5 月末に報告を (告示研修履修者など条件面を提示することも必要)

・ 日臨工選挙管理委員選定について (福田委員長)

現在、山口県松山氏が担当者（継続しない意思あり）

推薦なければ田中昭彦氏（前岡山県会長）選挙管理委員へ推薦を検討依頼あり（岡山県理事会で検討し回答予定）

・生涯教育事業の受講（肥田オブ）

会員全員対象ですので周知を（履修が専門、認定試験の条件となる）

以上

中四国臨床工学技士連絡協議会
2023 年度第 1 回学術委員会
議事録

日 時：2023 年 4 月 29 日（土）13:00-14:30

場 所：岡山国際交流センター レセプションホール

出席者：※敬称略

鳥取県：萩原 隆之	島根県：日野 厚志	岡山県：堀 純也
広島県：栗原 大典	山口県：安本 圭亮	香川県：村上 成重
愛媛県：山田 文哉	徳島県：福原 正史	高知県：仙頭 正人
オブザーバー		
鳥取県：藤原 弘昌	広島県：松田 政二	

欠席者：なし

資料

①BPA オンライン査読画面

1. 委員長・副委員長・書記の選出

中四国臨床工学技士連絡協議会 学術委員会規則 第 9 条及び 10 条に基づき、下記の通り委員長・副委員長・書記が選出された。

委員長：萩原 隆之（鳥取県） 副委員長：堀 純也（岡山県） 書記：山田 文哉（愛媛県）

2. 議案

(1) 第 12 回中四国臨床工学会の振返り（当日資料あり）

堀委員より、大会が 887 名の出席をもって無事に終了したことの報告がなされた。また、同時開催した「呼吸療法セミナー」での注意点（学会内のイベントではない旨）や学会参加申込みの地域差、時期的データ、過去の BPA に関する情報も当日資料に沿って説明がなされた。学会開催に伴うオンデマンド配信やランチョン開催時の座席制限などの苦勞、アプリ（LINE）を利用した情報発信を工夫した。

(2) 第 13 回中四国臨床工学会における学術委員会企画について

日時：2023 年 10 月 29 日（日） 9：00-9：55

講師：倉持 龍彦 様（JA 茨城県厚生連総合病 土浦協同病院 臨床工学部）

内容：統計解析の基本（仮）

萩原委員より企画のタイトル、座長は未定、上記の内容で講師に内諾済み。この内容で、準備を進めていく。

(3) 第 13 回中四国臨床工学会における BPA について（当日資料あり）

演題数：一般（卒後 15 年未満）6 演題、学生 6 演題 の予定

事前審査：学術委員にて「オンライン査読システム」を使用

査読項目：資料参照

当日審査：一般→各県技士会長、学生→学術委員

当日座長：一般→藤原会長、宮崎会長、学生→萩原委員、山田委員

萩原委員より、上記の方針が示され学術委員への査読の協力要請あり。

「査読システム」は前回大会と点数の違いはあるが、基準・査読項目は変更なく、例年通り。

自施設のものと思われる演題については、審査を行わずコメント欄にその旨を記載する。

【参考】：第 12 回中四国臨床工学会 BPA 応募数（堀委員）

一般：27 演題 学生：30 演題

(4) 第 13 回中四国臨床工学会における一般・学生演題の査読について

BPA 同様「査読システム」を利用し、各県に振り分けて査読を依頼する。

一般演題については、採点の必要はない。

(5) 第 13 回中四国臨床工学会の報告

開催日：2023 年 10 月 28 日（土）12 時～、29 日（日）9 時～16 時

場所：米子コンベンションセンター BiGSHiP

テーマ：臨床工学技士の SDGs ～わたしたちができること～

開催方法：対面

演題締切：5 月 8 日（現在まで 10 演題、目標は 120 演題）

藤原大会長より、上記内容について報告がなされた。

演題が集まっていない状況のほか、協賛協力が得られにくい状況（声掛けの 30%程度）である。

各県からの演題登録に関する情報共有の必要性、参加費など大会運営の在り方、災害時なども含めた協力金の必要性、大会開催に伴うポイント（MDIC、呼吸療法、ホスピタルエンジニア、各種専門認定など）明示の必要性など委員より意見があった。

(6) その他

広島県学術委員 来年度より栗原さん→松田さんに交代

次回開催：米子での第 13 回中四国臨床工学技士会開催中に会場内で開催予定。

以上

2023年度 第1回中四国臨床工学技士会連絡協議会 若手委員会 議事録

日 時：2023年4月25日(火) 19：00～19：55

場 所：Web会議 (Zoomミーティング)

参加者：(下線は欠席者)

鳥取県：金崎俊介

島根県：三島千秋、福島成文

岡山県：佐々木新

広島県：羽原詠治

山口県：鈴木雄揮

香川県：白川憲之、田井裕也

愛媛県：小野達也

徳島県：山下翔

高知県：安岡良訓

オブザーバー：岡田未奈 (日本臨床工学技士会人材活性化委員会)

<司 会>

金崎俊介 (鳥取県)

<書 記>

小野達也 (愛媛県)

会議に先立って、通信状況が良好であり、出席者の映像および音声が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできる状態であることを確認し、審議に入った。

<議 案>

- #1. 各県の活動状況の報告
- #2. 日本臨床工学技士会 人材活性化委員会
- #3. 2023年 (第13回) 鳥取県大会
- #4. 2024年 (第14回) 愛媛県大会
- #5. その他、報告、連絡

<議 事>

#1. 各県の活動状況の報告

鳥取県

第13回中四国臨床工学会において、若手委員会企画として1セッションを企画中。「コロナ禍において他施設との関わりが減っている中で、若手世代やベテラン世代がどのように仕事とプライベートの両立を図り、やりがいをもって働いているのか知りたい」という若手委員からの意見をもとに、「ワークライフブレンド」をキーワードとし、仕事とプライベートの両立、残業、CEのやりがいなどについて、アンケート結果をもとに登壇者と参加者が一緒に意見交換を行う内容を予定している。企画では、「仕事重視派 (収入重視派?) 」と「プライベート重視派 (自由時間重視派?) 」に立ち位置を分けた討論形式にすることを計画しており、中四国臨床工学技士会連絡協議会若手委員会の方には、パネリストの推薦にご協力いただきたい。

島根県

いずも産業未来博

日時：2022年10月30日(土)、31日(日)

臨床工学技士のPR活動を行った。具体的には、生体情報モニタによる心電図のモニタリング、エコーを用いてゼリーの中に隠された物を探す、内視鏡装置でお菓子を取る、VRで手術室体験を行った。スタッフは9名（うち理事4名）で、参加者は約400名。親子連れの参加者が多く、活発なPRができた。

岡山県

①就職活動を目的としたWeb病院見学会

日時：2022年5月27日(金) Web開催（Zoomミーティング+Viemoによるオンデマンド配信）

当日参加者：学生20名、施設担当者15名

オンデマンド参加者：会員26名、学生191名、その他4名

②会員交流事業岡山県施設対抗臨床工学技士健康増進月間ウォーキング・マラソン大会

会期：2023年2月（1ヶ月間）

結果発表・懇親会：2023年3月10日(金)

3人1チームで、ランニングアプリ（Runkeeper）を用いて各自でウォーキング・ランニングを行い、チームの走行距離を競った。会期中は、途中経過を報告するイベントの開催もあり、結果発表・懇親会を含めて盛り上がるイベントとなった。

Web病院見学会は、当日参加者が集まりにくい印象を受けた。今年度は、反省点を踏まえた上で「Web病院 ”説明会”」と題し、「見学会」から敷居を下げた形で開催予定。ウォーキング・マラソン大会も継続して開催予定。

広島県

①年金についてのセミナー（Web）

日時：2022年9月3日(土)

参加者：24名（会員14名、非会員10名）

②NISA・iDeCoについて（Web）

日時：2022年11月25日(金)

参加者：40名（正会員24名、15名、学生1名）

前年度からお金に関するセミナーを継続して開催中で、いずれも盛会となった。今年度は、お金とは違った内容のセミナーを模索中。

山口県

①キッズセミナー

日時：2023年5月5日（山口市青空天国いこいの広場）

内容：AED、パルスオキシメーター、外科内視鏡装置の体験

②山口県・福岡県合同事業（Web）

会期：2023年8月～10月頃

徳島県

①職能団体とは？（若手委員の必要性）

日時：2023年4月22日(土) 19：00～20：00

形式：Web

参加者：9名

②お金に関するセミナー（NISA、iDeCo等について）

日時：2023年6月

形式：Web

講師：徳島県金融広報委員会

4月にWebにて開催予定であったが、講師が会場開催のみ対応のため調整中。

③BV計について

日時：2023年8月予定

形式：対面またはWeb

講師：日機装

日機装担当者と開催形式や内容について検討中。

香川県

①動画作成

テーマ：かっこいい憧れる臨床工学技士（仮）

対 象：中高生

公 開：第1弾として、ショートバージョンが6月頃完成予定

②若手技士対象の勉強会

日 時：8月～9月を目処に開催予定

形 式：Web

愛媛県

CEのためのサステナブルなキャリアデザイン

日時：2022年11月13日(日)

形式：Web

参加者：28名

Web形式ということもあり県外からの参加があったものの、コロナ禍以前の対面形式と比べると参加者数は少なく、集客に課題が残った。2023年度は、FPを講師に招き、CEとお金やライフプラン等を絡めた内容の対面のセミナーを開催する方向で調整予定。

高知県

特になし。

コロナ禍以前は、中学校の校内ハローワークに参加していた。今年度の開催は不透明であるが、コロナの感染症法上の取り扱いが5類に移行されるため、再開されるのであれば参加したい。

各県から他県の質問

- ・各県の活動状況の報告から、対面の事業を開催した、あるいは開催予定の県が増えてきた印象を受ける。既に対面の事業を開催した県について、スタッフや参加者の反応、感染症対策等はどうだったか？（佐々木）
 - ▶ 自治体主催のイベントだったため、アルコールによる手指消毒やマスクの着用等、基本的な感染症対策の遵守は必要だった。参加者も対策を遵守できており、3密等は気にならなかった。参加者からは「コロナも落ち着いてきたので、イベントに参加しやすくなった」との声もあった。（三島）
 - ▶ 運営側はマスク等の基本的な感染対策をしっかりしようと話をしている。屋外イベントということもあり、参加者には使った機材の消毒や手指衛生をお願いするが、マスクの着用は求めない予定。（鈴木）
- ・鳥取大会における若手委員会企画のパネリストとして求めている年代や男女比等のもう少し具体的な条件を提示してもらいたい。（佐々木）
 - ▶ 20代から3名程度、40、50代から3名程度で男女比はどちらかに偏りすぎないようにお願いしたい。仕事重視派 vs プライベート重視派、若手 vs ベテランでの討論というよりは、参加者が企画を通じて幅広い世代の多くの意見に触れ、仕事やプライベートそれぞれのバランスについて考えたり、仕事のやりがいを見出せる機会になると嬉しい。5月中にはパネリストを選定し、依頼をかけたい。（金崎）
 - ▶ 30代は子育て世代であり、女性ならではのライフイベントも経験する世代と言える。こういった年代の女性にパネリストを依頼するのも良いのではないか。（三島、岡田）

- ・今年度、技士会のスクラブを制作予定であり、既に技士会でスクラブを制作している県があれば、活用事例等を聞かせていただきたい。（安岡）
 - ▶岡山県では、背中に「臨床工学技士」、左胸に「CE」というデザインのスクラブを45枚所有している。県技士会の名称を入れていないため、他県技士会や日臨工の事業の際にも貸し出して活用していただいている。スクラブは、様々な事業やイベントで活用でき、汎用性が高い印象。（佐々木）

#2. 日本臨床工学技士会 人材活性化委員会

○人材活性化事業

- ・Yボード憲章の改定→Y・ボードプライドを作成中
- ・SHEEPRIN MAKE CLEAR→人材活性化委員会Ver.の作成

○認知度向上事業

- ・第9回ここにじ〜ん！とくるいのちのエンジニアのはなし→受賞作品決定
- ・シープリン活用事業としてご当地シープリンを検討中
- ・告示研修のポスターについて作成中

○組織力向上事業

- ・技士会入会のすすめ→養成校、都道府県技士会へ配信済み
- ・AGM2022→1月開催済み
- ・第3回全国Yボード担当者会議→4月開催済み
- ・若手技士退会抑制→組織強化職能委員会と共同で、入会理由、当会事業に対する満足度、当会に期待する役割、今後の継続の意思などを調査し、結果をまとめ、分析するとともに当会の各委員会への情報共有を図る。

○広報事業

- ・人材活性化委員会HPデザインの刷新について進行中

○日臨工委員会企画 第33回日本臨床工学会@広島

- ・日臨工参加促進PR動画→作成予定
 - カウントダウン動画に関して、開催地から遠い順に2023年6月2日より配信していく予定。参加を促進するような内容を2分程度で作成する。中国四国地区は7月14日配信予定。各地区で作成する動画の締め切りは、2023年5月19日(金)。
- ・活動ポスター掲示
 - ①印刷サイズA3サイズ横方向レイアウトにて1枚作成
 - ※印刷時の対応上、作成データをPDFで保存し送付をお願いいたします。
 - ②字体：ゴシック体
 - ③文字の大きさ：各都道府県にお任せいたします。
 - ④ポスター記載必須項目：各都道府県名およびY・ボード担当氏名

PDF ファイル送付時にも同様にファイル名にご記載いただきますようお願いいたします。（例：東京都Y・ボード担当：東京太郎）

締め切り：2023年5月19日(金)

提出先：各地区の人材活性化委員（佐々木）まで

・活動ポスター報告会

【セッション内容】

①形式：ポスターセッション

②日時：2023年 7月23日（日）10:30～（1時間程度）

③場所発表順序：広島国際会議場1BF会議運営事務室ロビー

④発表形式：口頭報告（1人あたり1分～2分程度を予定）

【参加の有無に関する依頼】

①参加の有無に関する返答期日：2023年7月7日(金)

②返答先：各地区の人材活性化委員（佐々木）まで

#3. 2023年（第13回）鳥取県大会

第13回中四国臨床工学会

テーマ：臨床工学のSDG s ～わたしたちができること～

会期：2023年10月28日(土)、29日(日)

会場：米子コンベンションセンターBiG SHiP

〒683-0043 鳥取県米子市末広町294 TEL：0859-35-8111

大会長：藤原 弘昌 鳥取県臨床工学技士会 会長／鳥取市立病院 臨床工学部

大会事務局：医療法人三樹会 吉野・三宅ステーションクリニック

〒680-0846 鳥取県鳥取市扇町176番地

TEL：0857-21-8825 FAX：0857-21-8826

E-mail：chushices13@stationclinic.com

※演題登録のご協力をお願いいたします。

#4. 2024年（第14回）愛媛県大会

会場および日程に目処が立ち、現在調整中。

#5. その他、報告、連絡

なし

以上

第5回中四国臨床工学技士会連絡協議会 事務局会議案書

日時：2023年4月29日（日）13:00～14:45

場所：岡山国際交流センターB1F レセプションホール

出席者：宅江呂剛（島根県）、野村祐介（愛媛県）、兼長貴祐（広島県）、大野晶範（山口）、
斧武志（高知県）、山本晃市（香川県）、割石大介（徳島県）、藤原千尋（岡山県）、
雑賀真也（鳥取県）、仙波大英（高知県・オブザーバー）

会議進行、書記 雑賀真也

（事務局会の方針）

各委員会が抱えている事務的な業務を提示していただき、対応していく。

（報告事項）

・第12回中四国臨床工学会（岡山県）

テーマ：紡ぐ～人と技をつなぎ未来を創造する～

会期：2022年10月1日（土）、2日（日）

2022年10月12日～11月10日（オンデマンド配信）

会場：岡山コンベンションセンター

・第33回日本臨床工学会（広島県）

テーマ：Peace for Innovation～Peace：無事 安心への新たな展望～

会期：2023年7月21日（金）～23日（日）

会場：広島国際会議場、JMS アステールプラザ

学会長：高橋秀暢（広島国際大学）

・第13回中四国臨床工学会（鳥取県）

テーマ：臨床工学のSDGs～わたしたちができること～

会期：2023年10月28日（土）、29日（日）

会場：米子コンベンションセンターBiGSHiP

大会長：藤原弘昌（鳥取市立病院）

・第14回中四国臨床工学会（愛媛県）

会期：2024年9月21日（土）、22日（日）

会場：アイテムえひめ 愛媛国際貿易センター

大会長：宮崎昌彦（住友別子病院）

実行委員長：清水俊行（四国がんセンター）

（その他）

- ・会員管理の方法について

すべての県で Excel にて会員管理を行っているが多くの県で連絡先不明の会員が存在している。日臨工のプリバドと連携に期待。

- ・郵送物（信書）の取り扱いについて

手作業で行っている県や業者に発注している県など対応は分かれる。

- ・学会準備の情報（資料）共有方法について

<https://drive.google.com/drive/folders/1W02Sm3aFixVG-RY9SxwfzaCj0VyE9j6Y?usp=sharing>

→岡山県藤原事務局長の google drive に集約させていただいていたが、連絡協議会にて今後は中四国 X サーバーで管理することが決定した。

- ・中四国臨床工学会責任者の名称について

元々、中四国臨床工学技士会学術大会という名称だったため、責任者名を代々大会長としていたが、第 3 回大会より中四国臨床工学会に名称変更しているため、責任者名を学会長にする必要があるのではないか。→第 14 回中四国臨床工学会を担当する愛媛県から変更を検討していただく。

（次回開催予定）

日時：2023 年 10 月 28 日 or 29 日

場所：米子コンベンションセンター

※内容・時間によっては事前 Web 会議の併用を検討。

2023/04/16

中四国臨床工学技士会のホームページ及び情報共有について

(課題)

- 過去の記録が整理されていない。
- 情報共有が一元化されていない。
- 課題への試みはされるが継続しない。

(再挑戦)

- レンタルサーバー契約
 - Xserver (国内、日臨工も使用)
 - メールングリスト (スタンダードプラン20件登録可、500アドレスまで可)

(運用)

- 連絡協議会事務局担当県で管理者を持ち回りとする。
 - 秋の大会で次県へ引継ぎ

(費用)

- レンタルサーバー
 - 13,200円/年 (初回10,560、肥田立替??) 2023/04/15契約、次回2024/04/15
- ドメイン
 - 900円/年 (初回1円) 2023/04/15契約、次回2024/04/15

(補足)

- サブドメインの設定でブロック大会ホームページの設置も可能か??
- 会員専用掲示板を設置済み
 - <https://chushi-ce.net/cgi/wforum/wforum.cgi>
 - PW: chushicenet
- 中四国臨床工学技士会のgoogleアカウントも有り
 - Googledriveが共有で使用できる。
 - https://drive.google.com/drive/folders/1jLjvUN4rN2Ucga8Z0Z5LKA0DR-1QBVw?usp=share_link

(審議)

- この仕組みの利用を承認して頂けるか
- 承認されればメールングリストのいくつ作るか?
- 各都道府県の具体的なリスト提出

1. 奥技研修_1日目の指導者について (ご推薦) :

1日目：清潔操作とスコープオペレータの指導者につきまして、ブロックから数名程度、ご推薦いただきたく存じます。

すでに、対応いただいている方も多くありますので、必ずしも追加で推薦いただく必要はなく、できる範囲で結構です。

なお、候補者の情報につきましては、ご本人が次に入力ください。

<https://forms.gle/NA5TFxC6HIYNAGH7>

こちらを受けていただいて (3ヶ月以内を目処)、指導者デビューとなります。この点につきまして、予め、候補者にお伝えくださいますと幸いです。

2. 2024年度のブロックでの開催について (ご希望) :

本年度同様に、メインの羽田と千里以外に、次、開催予定といたします。

- ・ 3回 北海道・東北、中部、中・四国、九州・沖縄
- ・ 1回 関東甲信越、近畿

ご希望の開催箇所等を、次のフォームに入力ください

<https://forms.gle/TDE9CB7NUhSKmZH58>

締切 2023年5月末 (目処)

別紙2

待ち回り

中四国臨床工学会の活性化を目的とした工夫（案）

背景：

- ・より一層企業の協力が難しくなる（収入：減）
- ・演題数が集まりにくくなる（働き方改革、個人情報、研究倫理等の影響）
- ・上記理由により、今後、現在と同様の活動を継続・発展させるためには、活性化の工夫が必要

目的：毎年、多くの演題、参加者を確保できることにより、企業の協力が得やすくなる、開催県の負担が軽減すること

1) 現在、実施している、検討している内容

- ・次回主催県スタッフを交えた大会準備
- ・学会関係資料の共有促進（共有すべき資料をリスト化、クラウド共有）：事務部会
- ・各県の目標演題数の共有化（10件/県：連絡協議会で呼びかけ）

2) 新しい活性化のアイデア

- ・各県における演題準備状況の事前共有
- ・学会貢献度（演題数、参加者数等）が最も高い県の表彰（会員数等で補正が必要）
- ・告示研修では実施できていない、より専門的な内容の実技研修の導入（ハンズオンセミナーの発展？）
- ・臨床スキル、技術に関する評価コンテストの導入（開催県での運営が難しいようであれば、9県での合同委員会での運営）
- ・関連学会の講習会の一部を企画として取り入れる（ポイント取得ができる：例：透析液水質確保加算用の講習会）
- ・若者が集まりやすい学会企画を考える
- ・歴代大会における演題数、参加人数の推移を抄録集に掲載（臨床検査技師会が実施）

第14回中四国臨床工学会 実行委員会報告

2023年6月4日（日）

【中四国技士会連絡協議会（4月29日岡山開催）で報告】

会期：2024年9月21日（土）、9月22日（日）

会場：アイテムえひめ（愛媛国際貿易センター）

大会長：宮崎昌彦（住友別子病院）

実行委員長：清水俊行（四国がんセンター）

【実行委員会への提案】

- ・大会事務局長：野村氏（三島クリニック）
- ・大会事務局：住友別子病院
- ・大会監事：田邊氏（済生会今治）、渡部氏（放射線第一）
- ・実行委員会の開催について
 今後は月1回のペースで固定日にweb会議にて開催予定。必要によって対面会議
- ・実行委員会メンバー
 第7期理事、各委員会委員長、理事または各委員会委員長が推薦した者
- ・実行委員の主たる役割の割付（別紙タイムスケジュール表 参照）

【今後の課題】

- ・大会テーマ決め→6月末までアイデア募集
- ・懇親会会場：東京第一ホテルは閉館により使用できない
- ・コンサル会社：岡山大会のコンサル会社（ハレ）を第一選択に依頼、交渉
- ・予算案、大会規模の策定

第14回中四国臨床工学会 愛媛大会 タイムスケジュール(2024年9月21, 22日 アイテムえひめ)

大会長:宮崎(住友別子) 実行委員長:清水(四国がん) 事務局長:野村(三島クリニック) 学術委員:山田(愛大)

[illegible]